

好学尚武

市立浦和高等学校野球部通信
発行者 鈴木 諭

発行日 H30. 7. 4
発行ナンバー 611号
(田中主将の代・・112号)

大会の補助役員を担当します

野球をするだけでなく、大会がどのように行われているかを知る・・とても大切なことだと思います。この夏、市立浦和高校野球部は、隣の市営浦和球場で行われる試合の補助役員を担当します。

8日(日)・・チケット販売や駐車場整備
(選手15名)

本部放送等担当

(マネージャー5名)

12日(木)・・チケット販売や駐車場整備
(選手20名)

本部放送等担当

(マネージャー3名)

13日(金)・・本部放送等担当
(マネージャー3名)

14日(土)からは、各校の勝敗状況によりませんが、基本、市営浦和球場で大会が行われる日は、補助役員の仕事があると思って下さい。

様々なことを学んでほしいと思います。

私の宝

久しぶりに高校野球部同期の仲間達と会いました(市高平成3年度卒)。一応、名目上は私(市高野球部)の激励会、しかし当日その雰囲気はなし(皆、飲みたかっただけ・・)

楽しい1日でした・・日付が変わる時間まで盛り上がりました。気を使うことなく和気あいあいと過ごすことのできる時間・・私にとって同期野球部の存在は宝であることを実感しました。(現役生も大切にして下さい、横のつながり)

皆、偉くなっていました。社会での44歳とはそういう年齢なんですね・・

(私は退職までヒラ教員ですが・・)

激励してもらった分、頑張りたいと思います。

監督の決断

きれいに戦って思うような結果が出るのであれば、誰も泥臭いドロドロした戦いなどしないでしよう・・

サッカーワールドカップ、日本のベスト16進出(予選リーグ突破)はまさしくドロドロした戦いとなりました。4つの国が総当りで戦い、上位2カ国が決勝トーナメントに進出するというルール・・その順位を決める基準も明確になっている・・のであれば、決勝トーナメントに残るための最善策として監督のとした作戦は尊重されるべきだと思います。

予選リーグ4カ国の組み合わせはポット1~ポット4というランク分けされたもので、日本はポット4・・一番弱い国という立場でした(ポット4で決勝トーナメントに残ったのは日本だけ・・ポット3でもたった2カ国しか16強に残れず・・ポット1・ポット2の壁の高さがよく伝わってきます)。

先発メンバーの人選、途中交代、その試合での戦術・・サッカーと野球の違いなど関係なく、「監督の決断」として学ぶべきことが多い日本代表の戦いになっていると思います。

この文章を書いている今日、16強の戦いがスタートしました。フランス対アルゼンチン、ウルグアイ対ポルトガル・・もの凄いプレーの連続でビックリしました。日本がそのトーナメントに生き残っていることも驚きですが、対ベルギー戦大丈夫かな・・という気持もちよつと・・

東高出身の川島選手、西高出身の西野監督、浦和の誇りです。周りが何と言おうと、私は「浦和の誇り」を最後まで応援し続けます。